

明治時代以降、新たな概念としての「美術」が学問の対象となっていくことは、多くの先行研究が示している通りである。近代日本の仏教が、その新たな概念との関係でどのように語りなされたのか、「仏教と美術」にまつわる一つの事例を挙げ、先行研究を踏まえつつ1000字程度の日本語で述べなさい。なお、脚注等による出典の提示は、この字数に含めない。